千年の森便り No.162

2017.01.31

ちば千年の森をつくる会

http://toyofusajima.html.xdomain.jp/

事務局長　伊藤道男

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

１月 22 日（日）晴

参加会員は伊藤、岩崎、大原、久我夫妻、坂本、成沢、根本、福島、村野の総勢 10 名。今年の活動開始に当り、先ずは全員祠山に集まり恒例の安全祈願の後グループに分かれ、竹テーブルの更新、ホテイ岬の森林整備、植物観察、伐採したコナラの枝払い、シイタケホダ場整備、野鳥記録などに精を出しました。（成沢）

年始恒例の安全祈願

千年の森看板を背に

○竹テーブルの更新

荷物置きに使っていた竹テーブルが朽ちて折れていましたので建替え更新をしました。竹の簀の子編みは岩崎さん、大原さん、村野さんの手際の良さで短時間で完成することが出来ました。従来の位置から若干移動してありますが今まで通りご利用ださい。（根本）

竹テーブル建替え

竹の簀の子編み

○ホテイ岬の森林整備

先月に引き続きホテイ岬の森林整備を９人の男性精鋭部隊で行いました。主に立ち枯れした竹、およそ３０本の除伐と倒伏竹木の集積の結果、遠く吊橋が見通せるようになりました。作業はまだホテイ岬のほんの一部ですが皆さんには整備後の利用方法などアイデアをお願いします。（根本）

ホテイ岬の森林整備

○植物観察

花が少ない時期なので、おもに春に備えている植物などを観察しました。

シュンランは、シカの食害により激減してしまいましたが植生保護柵の中の株はたくさんの花芽をつけていました。また、去年のさく果が残っていて、種子を散布していることが確認できました。

コセリバオウレンは、まだ花をつけていませんでした。株は複数ありますが、いずれも葉が少なく開花するかどうか心配されます。また、生育地の周囲にはシカの食害が多く、すぐ近くに足跡やフンがあったことから食害の影響も心配されます。

アキノギンリョウソウは、いつものようにコセリバオウレンの近くの斜面にさく果が残っていました。

祠山の北岸には、スハマソウやミヤマウズラが、落ち葉の間に葉をのぞかせていました。

千年広場の近くには、ナガバノコウヤボウキがそう果を太陽の光に輝かせていました。（福島）

シュンラン

シカ食害

コセリバオウレン

アキノギンリョウソウ

スハマソウ

ミヤマウズラ

ナガバノコウヤボウキ

シロダモ

冬空を見上げて

○伐採木の枝払い

先回切ったコナラの葉が落ちたので、枝を払いました。
久我代表から新品のチェーンソーを渡され、切味抜群で瞬く間に枝が落ちていきました。途中ソーチェーンが外れてしまいました。今のチェーンソーは工具無しで刃が替えられる優れもので、初め戸惑いましたが、なんとかなりました。後はほだ木にする! だけ。キノコが豊作になるの楽しみです。（大原）

枝払い

○ホダ場の整備作業

久我則子、成沢、伊藤の３人で、古くなったホダ木の整理と食害除けネットのかけ直しを行いました。ほぼ朽ちてしまった２か所のホダ木は、まとめて積み上げカブトムシなど甲虫類を期待することとしました。まだ多少の発生が期待できそうな２か所については、朽ちたホダ木を外して組み直し、ネットをしっかりかけ直しました。丁寧に見て回ると、わずかですがシイタケの発生があり、ありがたく採取しました。（伊藤）

ホダ木の整理と食害除けネットのかけ直し

ほだ木ネットのシカ被害

○野鳥記録

林内は落葉して寒風が通り抜け、野鳥観察には不向きな日でしたが、珍しくアトリが見られてラッキーでした。湖面のカモ類では留鳥のオシドリに加えて越冬のために渡ってきたホシハジロとキンクロハジロがみられました。トビの古巣に巣材の追加などの変化は無く、今年の繁殖に使われるのかどうか不明です。

オシドリ７　ホシハジロ 30　キンクロハジロ６　トビ３+声　コゲラ声　カケス声　ハシブトガラス声
ヤマガラ２+声　ヒヨドリ声　メジロ２+声　アトリ８
以上 11 種　（坂本）

お知らせ

○２月の定例活動日

２月 19 日（日）　光環境調査（落葉期）、ホダ木玉切り、野鳥・植物・動物調査。